

特別企画：四国地区の木材・建材卸売業者の業績動向調査**2015 年度の総売上高は前年度比 2.0%減、利益額合計は 7.4%減****はじめに**

四国では、公共工事は比較的增加傾向にあり、住宅販売も好調に推移している。TDB の景気 DI 調査でも、建設業は、全業種のなかで最も好調な業種となっている。では、建設業界に資材を提供している木材・建材卸売業者の動向はどのように推移しているのだろうか。

そこで、帝国データバンク高松支店では、四国での木材・建材卸売業者の動向を探るため、2013 年度から 2015 年度の売上高、利益額（当期利益、以下同じ）、従業員数の変化を捉えるとともに、売上高上位企業を抽出した。

今回の調査は、四国に本社を置く「木材・竹材卸売業」、「セメント卸売業」、「板ガラス卸売業」、「建設用石材・窯業製品卸売業」、「その他建設資材卸売業」、「サッシ卸売業」を主業とする企業のうち、2013 年度（2013 年 4 月期～2014 年 3 月期）、2014 年度（2014 年 4 月期～2015 年 3 月期）、2015 年度（2015 年 4 月期～2016 年 3 月期）の年売上高が比較可能な 731 社を対象に実施。

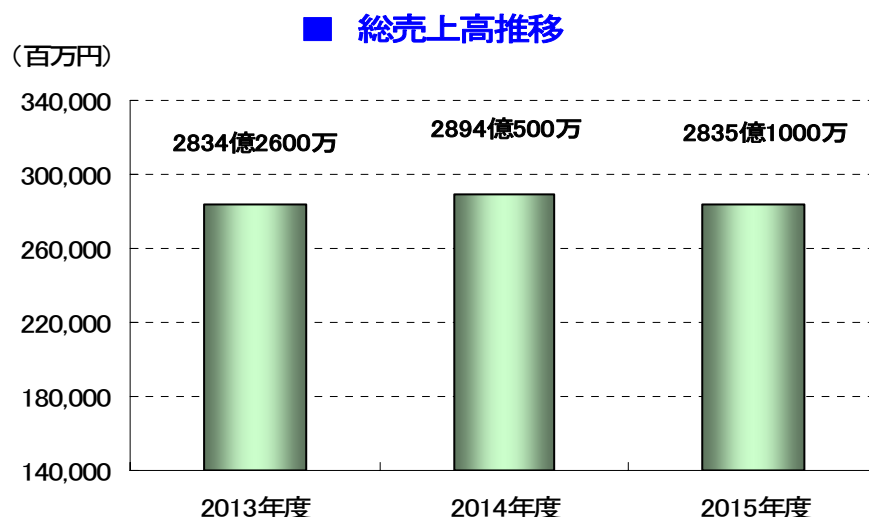
調査結果（要旨）

1. 四国に本社を置く木材・建材卸売業者 731 社の 2015 年度の総売上高は前年度比 2.0% 減の 2835 億 1000 万円。
2. 上記 731 社のうち、2015 年度に増収だった企業数は 169 社（23.1%）となり、減収の 303 社（41.5%）より少なかった。2014 年度の増収企業数（301 社・41.2%）と比べると減少していた。
3. 上記 731 社のうち、3 年度連続で利益額が比較可能な 285 社の 2015 年度の利益額合計は前年度比 7.4%減の 25 億 7700 万円であった。151 社（53.0%）の企業が減益となっており、2014 年度と比べて 23 社増加していた。
4. 上記 731 社のうち、3 年連続で従業員数が判明している 714 社の 2015 年の従業員総数（正社員のみ、役員・パートなどを除く）は 5,139 人。2014 年と比べて 1.9%減と微減であった。

1. 総売上高

四国に本社を置く木材・建材卸売業者 731 社の 2015 年度の総売上高は、前年度比 2.0%減の 2835 億 1000 万円となった。2014 年度の総売上高は前年度比 2.1%増の 2894 億 500 万円であった。

公共工事の恩恵を受けて売り上げを増やす企業や、四国以外の地域への販売が好調だった企業がある一方で、ローコスト住宅の台頭による住宅価格の低下により、販売価格が低下した企業も多かったようだ。



2. 売上高動向

分析対象である 731 社の売上高の動向は、2015 年度に「増収」となった企業数は 169 社（構成比 23.1%）で、2014 年度と比べると、132 社と大きく減少していた。

一方、「減収」企業数は 303 社（同 41.5%）で 2014 年度と比べて 64 社増加していた。

2 年度連続で「増収」となった企業数は 69 社（構成比 9.4%）だった。一方、連続して「減収」となった企業は 91 社（同 12.4%）であった。

2015 年度が減収となったのは、特定企業の大減収というよりも、「減収」企業数が増加したことが要因であった。

■ 増減収状況

	2014年度		2015年度	
	社数	構成比(%)	社数	構成比(%)
増収	301	41.2	169	23.1
うち2期連続増収			69	9.4
減収	239	32.7	303	41.5
うち2期連続減収			91	12.4
横ばい	191	26.1	259	35.4
合計	731	100.0	731	100.0

3. 収益動向

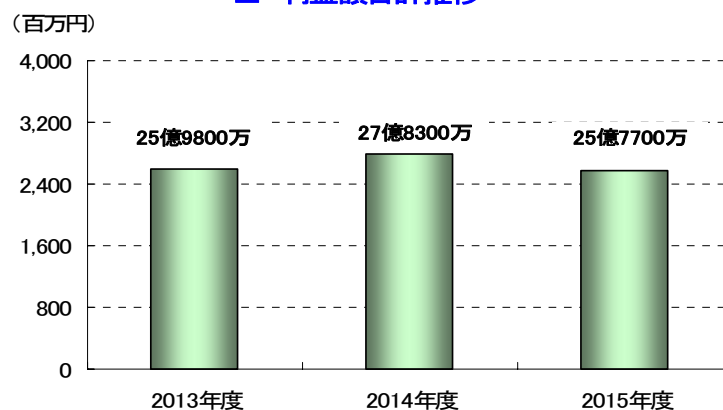
分析対象の731社のうち、3年度連続して利益が比較可能な285社の2015年度の利益額合計は、前年度比7.4%減の25億7700万円だった。

2015年度の「増益」企業数は130社（構成比45.6%）で2014年度と比較すると23社（8.1ポイント）減少していた。

一方、「減益」企業数は151社（同53.0%）で、2014年度と比較すると23社（8.1ポイント）増加していた。

2015年度の利益合計額が減少したのは、特定企業が大幅に減益となったのではなく、「減益」企業数が増加したことが要因であった。

■ 利益額合計推移



■ 増減益状況

	2014年度		2015年度	
	社数	構成比(%)	社数	構成比(%)
増益	153	53.7	130	45.6
うち2年度連続増益			57	20.0
減益	128	44.9	151	53.0
うち2年度連続減益			54	18.9
横ばい	4	1.4	4	0.3
合計	285	100.0	285	100.0

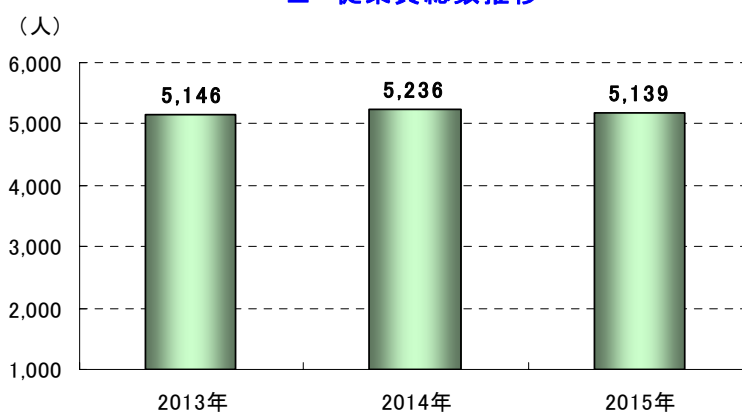
4. 従業員総数推移

分析対象である731社のうち、3年連続で従業員数（正社員のみ、役員・パートなどを除く）が判明している714社の従業員総数（各年の12月末データ）は、2015年は5,139人であった。

2014年の従業員総数5,236人と比べると97人（1.9%）減と微減であった。

2014年は、2013年（5,146人）と比べると90人（1.7%）増加していた。

■ 従業員総数推移



5. 売上高上位 10 社

1位となったダイキアクシスは、住宅機器、環境機器の販売を行う東証1部上場企業。トイレ浄化槽の販売は豊富で全国でも上位にランキングされる。住宅機器は全国を営業エリアとしており、キッチンやトイレなどの水回り品を中心に取り扱いしている。

2015年12月期は、衛生陶器や給湯器、浄化槽の販売が好調であったことからホームセンター向けの売り上げの減少を補い増収となった。

2位となった日本興業は、土木工事で使用するコンクリート2次製品を販売しているJASDAQ上場企業。舗装材にも強みを持っており、庭園等のエクステリア製品なども取り扱いしている。仕入販売が過半を占めているが、自社でも製品を製造しており、高い技術力を有している。

2016年3月期は、防災関連のコンクリート2次製品の販売が伸びたことから増収となった。

3位となったエヌプラスは、ユニットバスやシステムキッチンなどの販売を行っているほか、自社でリフォーム工事も手掛けている。マンションデベロッパーを中心に、地元工務店など香川県、愛媛県を中心に営業基盤を確立している。

2015年6月期は、主力となる住宅機器の販売は、マンションデベロッパーや地元工務店などからの受注が減少したことから減収となった。

■ 四国 2015年度木材・建材卸売業者売上高上位10社

(単位: 百万円)

順位	社名	所在地	2015年度売上高
1	株式会社 ダイキアクシス	愛媛県松山市	27,940
2	日本興業 株式会社	香川県さぬき市	12,201
3	株式会社 エヌプラス	香川県高松市	6,180
4	堀部産業 株式会社	徳島県徳島市	5,500
5	TOTO四国販売 株式会社	香川県高松市	5,474
6	入交コーポレーション 株式会社	高知県高知市	4,963
7	正和商事 株式会社	愛媛県松山市	4,926
8	伊予木材 株式会社	愛媛県大洲市	4,482
9	株式会社 キクノ	愛媛県松山市	3,722
10	藤田産業 株式会社	愛媛県新居浜	3,476

※2015年4月期～2016年3月期が対象

まとめ

今回の調査で、以前行った「四国の総合工事業者の業績動向調査」(1月30日号)では、2015年度の総合工事業者の総売上高は微増だったが、卸売業者の総売上高は微減であったことがわかった。また、利益額合計が3割増加していたことがわかった。収益動向では、2015年度は減益となった企業が過半を超えていた。

公共工事や住宅販売が好調なことから、四国の建設市況は堅調であるが、人口減少が続いているなかで、建設市場の成長にはおのずと限界がある。大手卸売業者のなかには、競争力のある自社製品を持ち全国で商品を販売している企業がある。今後も木材・建材卸売業者が発展していくには、積極的な営業展開を行い、エリア外の需要を取り込むことの出来る企業が増えていくことが重要だろう。

(内容に関する問い合わせ先)

(株) 帝国データバンク 高松支店 担当：伊藤

TEL:087-851-1571 FAX:087-851-3837

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。